

表5-12 1日あたりの活動分類別頻度平均(N=37)

活動分類名	平均回数	標準偏差	最小値	最大値
雑談交流	25.3 回	23.24	0	80
基本的な生活行為	20.0 回	11.57	4	43
くつろぎ	12.2 回	11.10	0	49
生活管理行為	3.2 回	3.78	0	16
BPSD関連行為	2.9 回	5.33	0	26
家事活動	2.6 回	3.49	0	13
音楽活動	2.0 回	6.18	0	30
家内雑用	0.7 回	1.29	0	5
文学	0.6 回	1.86	0	11
外出活動	0.5 回	1.64	0	8
レクリエーション	0.5 回	1.14	0	5
援助活動	0.3 回	0.69	0	3
趣味その他	0.2 回	0.37	0	1
信仰	0.1 回	0.54	0	3
趣味活動	0.1 回	0.49	0	3
屋内作業	0.0 回	0.16	0	1
運動	0.0 回	0.00	0	0
訓練	0.0 回	0.00	0	0
動物の世話	0.0 回	0.00	0	0

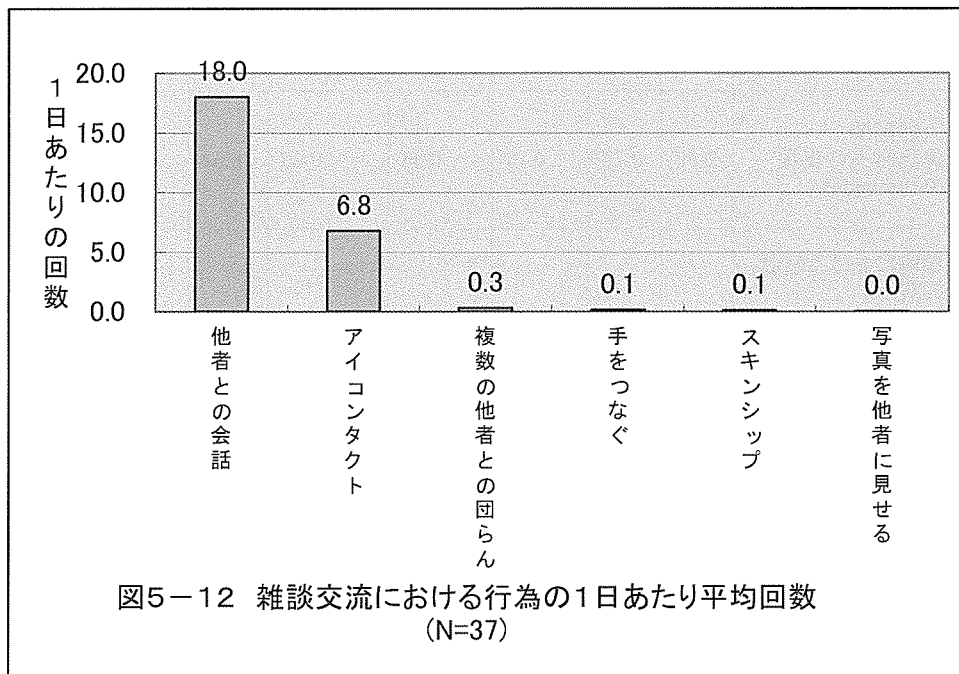
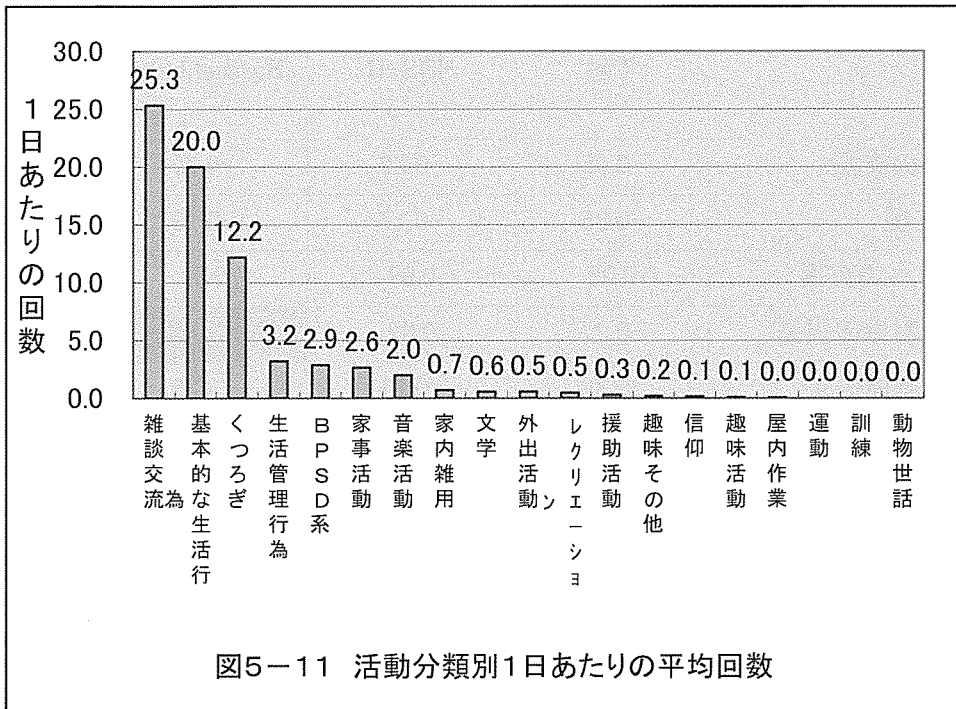


表5-13 高齢者属性とPEAP 下位尺度との相関(pearson)

	年齢	HDS-R	Barthel Index	BEHAVE-AD
安全と安心への支援	-0.05	-0.29	-0.29	-0.13
見当識への支援	-0.25	-0.17	-0.19	0.05
機能的な能力への支援	0.05	0.07	0.01	-0.09
環境における刺激の調整	-0.27	0.02	-0.33*	-0.02
環境における刺激の質	-0.30	-0.21	-0.29	0.29
生活の継続性への支援	-0.34*	-0.20	-0.47**	0.18
プライバシーの確保	-0.14	-0.33*	-0.59**	0.16
自己選択への支援	-0.24	-0.08	-0.42**	0.05
ふれあいの促進	-0.16	-0.29	-0.4**	0.24
PEAP 全体平均	-0.29	-0.23	-0.45**	0.14

表5-14 活動に関する重回帰分析結果(ステップワイズ法)

目的変数	説明変数	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の標準誤差	R2 乗変化量	F 変化量	自由度 1	自由度 2	有意確率 F 変化量
外出活動	入居期間 見当識への支援 Barthel Index	0.87	0.75	0.73	0.86	0.05	6.82	1	33	0.01
雑談交流	環境における刺激の質 HDS-R 得点 機能的な能力への支援 ふれあいの促進	0.85	0.73	0.70	12.81	0.09	11.12	1	32	0.00
ADL 関連行為	安全と安心への支援 Barthel Index 自己選択への支援 年齢 入居期間	0.78	0.61	0.55	7.76	0.05	4.22	1	31	0.05

表5-15 外出活動における要因別標準化係数

	非標準化係数		標準化係数	t	有意確率
	B	標準誤差	β		
(定数)	-4.24	0.82		-5.15	0.00
入居期間	0.02	0.00	0.77	8.51	0.00
見当識への支援	1.25	0.28	0.40	4.47	0.00
Barthel Index	0.01	0.01	0.24	2.61	0.01

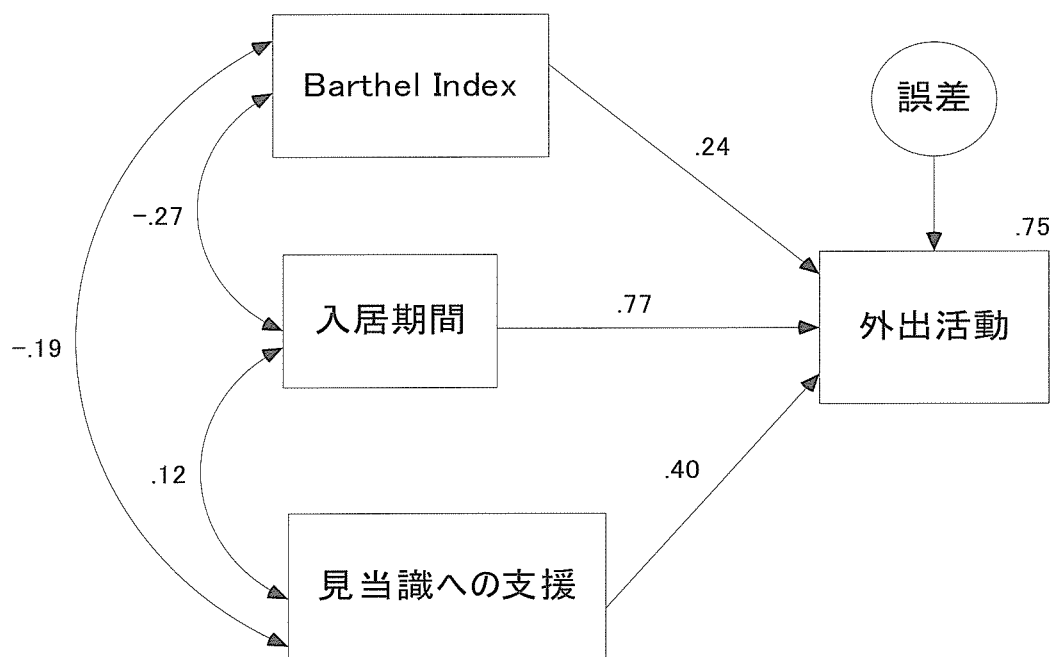


図5-13 外出活動に影響を及ぼす要因

表5-16 雑談交流における要因別標準化係数

	非標準化係数		標準化係数	t	有意 確率
	B	標準誤差	β		
(定数)	-35.30	24.49		-1.44	0.16
環境における刺激の質	28.02	6.56	0.55	4.27	0.00
HDS-R 得点	1.92	0.37	0.51	5.23	0.00
機能的な能力への支援	-29.87	7.50	-0.39	-3.98	0.00
ふれあいの促進	16.77	5.03	0.42	3.33	0.00

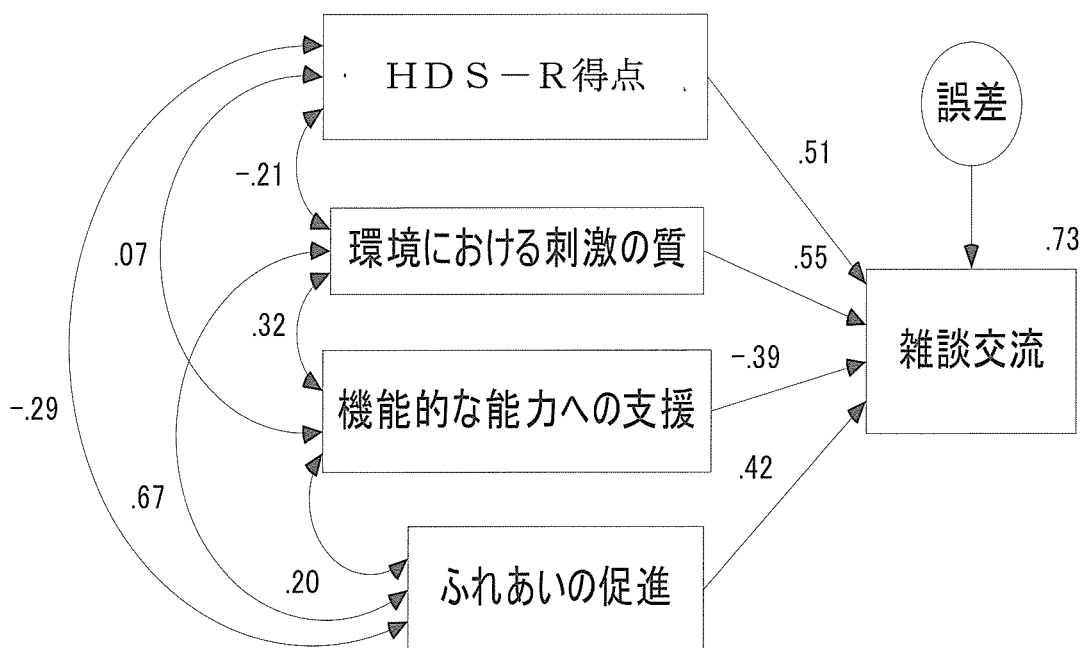


図5-14 雑談交流活動に影響を及ぼす要因

表5-17 ADL関連行為における要因別標準化係数

	非標準化係数		標準化係数	t	有意確率
	B	標準誤差	β		
(定数)	-50.75	32.15		-1.58	0.12
安全と安心への支援	26.39	7.19	0.44	3.67	0.00
Barthel Index	0.30	0.05	0.77	5.79	0.00
自己選択への支援	11.50	4.06	0.36	2.83	0.01
年齢	-0.68	0.24	-0.34	-2.84	0.01
入居期間	0.04	0.02	0.25	2.05	0.05

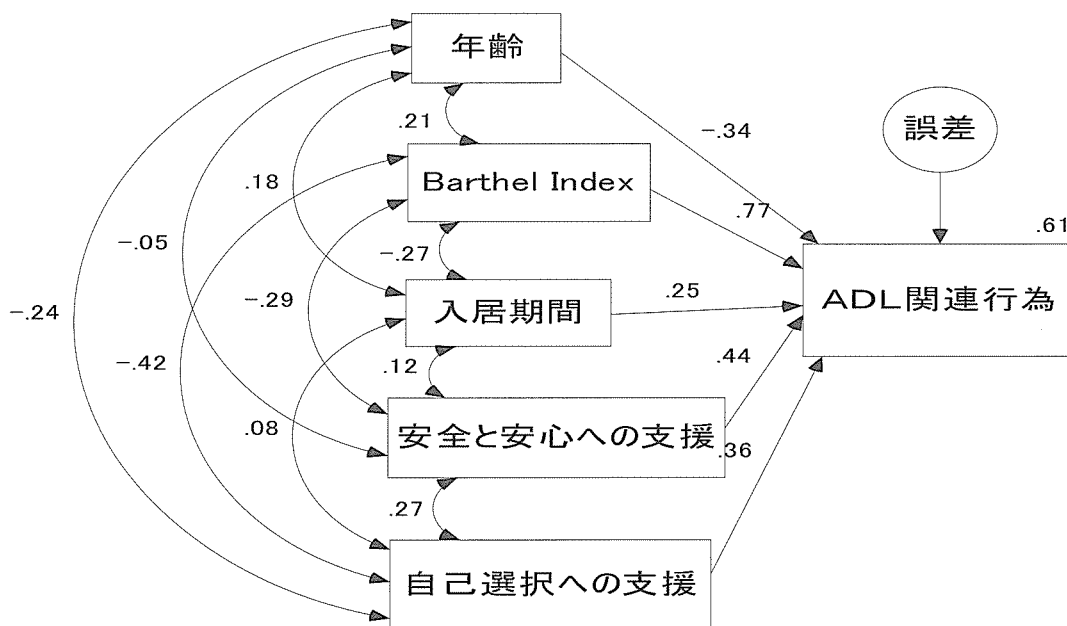


図5-15 ADL関連行為に影響を及ぼす要因

Ⅲ.研究成果の刊行に関する一覧表

現在のところなし（準備中）

平成18年度 厚生労働科学研究費補助金
長寿科学総合研究事業報告書

認知症における標準的なケアモデルの構築に関する研究

2007年4月発行

発行者 認知症介護研究・研修仙台センター
センター長 加藤 伸司

制作 株式会社 ホクトコーポレーション
仙台市青葉区上愛子字堀切1-13
TEL (022)391-5661(代)
